

琉球大学学術リポジトリ

沖縄返還交渉資料第11巻

メタデータ	<p>言語:</p> <p>出版者:</p> <p>公開日: 2019-02-07</p> <p>キーワード (Ja): 佐藤総理, (社) 国際情勢研究会, 「沖縄等返還交渉について」の意見書, 南方連絡事務所の政経情報, 愛知大臣とロジャーズ長官及びスタンズ長官との会談, 岸特使のニクソン大統領及びロジャーズ長官との会談, 佐藤・ニクソン首脳会談, 佐藤総理のナショナル・プレスクラブでの講演と質疑, マスキー及びスコット上院議員ならびにランパート高等 弁務官の記者会見, 沖縄祖国復帰連盟, 不服申立制度の切換え</p> <p>キーワード (En):</p> <p>作成者: -</p> <p>メールアドレス:</p> <p>所属:</p>
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43639

米
国
南
洋



注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

要点次のとおり。

(イ) 返かん期日について、日本の / 部筋は 7 / 年、72 年等の期限を述べているが、自分はそれは UNREASONABLE な線だとは思わない。本年中にその合意に達すべきであり、また差しなければならぬ。基地の態様については日米両国政府が FULL CONSULTATION を行ない、かつ FULL UNDERSTANDING に到達することがかん要と思う。

(ロ) 米側としてはオキナワの軍事的価値については、オキナワの基地を移すことの可能性も含めて HARD LOOK をする必要がある。自分は今般の訪日で得た印象を軍当局にもはかつて、代替基地の問題等についても意見を聞いてみたいと思っている。

(ハ) 施政権の返かんと基地の態様についての合意はパッケージでなされるべきものと考え。

(ニ) オキナワに現に核が存在するか否かについては軍事上の機密事項であるから自分は言う立場にない。

(ホ) 日本国民は中共の核のきょういについてほとんど関心がない。日本政府が中共との政治的外交的関係の改善に努力せんとしているが、自分はそれが可能だと思うし、そういう努力は米側の考えていることとも一致する。ただし、中共のアグレッシブな対外し勢には問題がある。

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(ヘ) 社会党は日本の安全保障について何も考えていないが、日本の長期防衛政策についても HARD LOOK が必要であろう。

(3) 本件会見(内外記者、テレビ等をあわせ 30-40 名の出席者があつた由。)をちよう取した当地邦人記者団の印象をそう合すると、マスケー上院議員は今般訪日においてかなり問題の核心をはあくしてきたものとみられ、日本のすがたを客観的にとらえ、政府をこう束するが如き発言はさけつつも特にオキナワ問題を人道問題としてとらえている点については米人記者の共感をよびおこしたものとみられている。

(4) 右会見においては、72 年大統領選出ばの意向如何等の内政問題(この点について同上院議員は要請があれば受けて立つ用意ありとしてかなりの関心を示した由)にも言及したが、当地 20 日付各紙はこれら内政問題について報道したのみでオキナワ問題についての発言は報道されていない。

2. スコット上院議員は 20 日小人数の記者と INFORMAL に会見したが、同議員報道官等よりちよう取したところ要旨次のとおり。

(/) オキナワの施政権返かんは日米間の緊急な課題である。返かんの期日についてサトウ総理訪米の際に合意すべ

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

戦略的地位を占めていることは地図と見ても明らかである。

2. B52の沖縄駐機は永久的なものではなく、駐機理由がなくなれば撤去されるという従来の方針を変更すべき要件はない。

3. 沖縄経済は不況下にあるとする向きもあるが、あらゆるデータを総合すれば、不況が存するとする要素は見当たらない。

(近時伝えられる基地支出の減少も不況に結びつくのではないかとこの意向に対し) 本年度基地支出については建設分野では減少しているが、全体としては昨年度よりふえている。米政府のドル防衛策の推進に専らても、沖縄経済に悪い影響を与えないよう配慮されている。

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

4. (諮問委においてB52問題をはじめとし、原潜放射能汚染等、公害問題と討議せしめようとの動きが琉政側にあるが、この意向に対し) このような問題を討議することは諮問委の権限外である。なお、日琉一体化推進のためにこれまで諮問委がなした実績については、自分は高く評価している。

5. 総合労働布令の改正については米政府でまだ結論が出ていない。従って改正案や施行期日等は未定である。

6. (高等弁務官が「大使命とする住民の福祉」および「基地の有効な維持」は相互に矛盾するのではないかとこの意向に対し) 自分はそうは思わない。米側は住民福祉をはじめとし、沖縄の将来の経済的繁栄の

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

に関するもので、その他の領向事項はB52撤去問題、経済不況対策、諮問委託能の拡大問題、総合労働布令問題など広範な分野に亘りおるところ、これに対する弁務官の回答は要旨下記のとおり、特に目新しいものなきも、とりあえず御報告する。

1. 去る15日の日本海における米軍機行方不明事件については、遭難乗員の捜査救助活動のため、救助機が現場海域に赴いたが、同事件が沖縄の日本復帰にいかなる影響を与えるとか、在沖米軍基地が今後いかなる役割を演ずるか等の問題は、日米両政府の最高レベルで取扱われる性質のもので、自分がコメントすべき筋合いのものではない。(沖縄に代りうる基地代替地は他地域にあるかとの領向に対し) 沖縄は地理的に見て極めて重要な

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

戦略的地位を占めていることは地図と見ても明らかである。

2. B52の沖縄駐機は永久的なものではなく、駐機理由がなくなれば撤去されるという従来の方針を変更すべき要件はない。

3. 沖縄経済は不況下にあるとする向きもあるが、あらゆるデータと総合すれば、不況が存するとする要素は見当たらない。

(近時伝えられる基地支出の減少も不況に結びつくのではないかとの領向に対し) 本年度基地支出については建設分野では減少しているが、全体としては昨年度よりふえている。米政府のドル防衛策の推進に寄っても、沖縄経済に悪い影響を与えないよう配慮されている。

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

4. (諮問委においてB52問題をはじめとし、原潜放射能汚染等、公害問題と討議せしめようとの動きが琉政側にあるが、との負向に対し) このような問題を討議することは諮問委の権限外である。なお、日琉一体化推進のためにこれまで諮問委がなした実績については、自分は高く評価している。
5. 総合労働布令の改正については米政府でいまだ結論が出ていない。従って改正案や施行期日等は未定である。
6. (高等弁務官が「大使命とする住民の福祉」および「基地の有効な維持」は相互に矛盾するのでは否いか、との負向に対し) 自分はそうは思わない。米側は住民福祉をはじめとし、沖縄の将来の経済的繁栄の

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ために努力しているとして那覇空港ターミナルビル拡張計画の具体化、ハンセン病に関する米人専門家の対沖派遣などを例示した。

(3)

カビ 万博

大政事外外育
 務務 房
 次次
 臣官官審審長
 儀書文会營給

参入電厚計
 参調研
 参領旅移

ア場北東証
 長北北証
 中東証
 参西東洋
 長西東

近参参近ア
 長次総経国万
 参参統国
 参政技二
 国一選
 参参協親
 長参政経科
 長軍社専
 参参道内外
 長一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 20700 主管
 69年5月15日20時10分 米 国 発着 米北1
 69年5月16日09時33分 本 省

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理
 ヒッケル内務長官の記者会見(報告)

第1479号 平 至急
 貴電米北一第885号に関し
 ヒッケル内務長官は、//日ABCテレビ放送「イシュー
 ス・アンド・アンサーズ」番組において記者の質問に答え
 次の通り述べた。(テキスト空送する。)

1。(米国は信託統治地域の独立を支持すべきものと思
 うか) 米国がこの地域に独立を与えるべきか否かは、クロ
 ネシア住民自身によつて決めらるべき問題である。米国の
 なし得る重要なことは住民の政治への参加を一層促進し、
 最後には住民の希望が何であるかを知り、米国としてその
 希望を達成させるために如何なる援助をなし得るかを決定
 することである。

2。(同地域の将来はオキナワ問題の帰すうと関連する
 か)

同地域をめぐる問題は軍事的なものではなく、御質問のよ
 うな事項との関連において問題を考えていない。住民にと
 つても米国にとつても、非軍事的(IN A CIVIL

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

IAN SORT (F WAY) 観点から考えること
 の方がより得策であると思ひ。確かに同地域は最も極東に近
 いので、その限りで軍事的に重要ではあるが、自分は社会
 的、経済、政治等のかく度からこの問題にとり組んでいる。

3。(この地域を西太平洋における米国の新たな防へきと
 して考えないのか)

それも一つの側面とはなり得ようが、主たる理由付になる
 とは思わない。確かに地理上同地域は軍事的に重要ではあ
 るが、それが他にままして重要な理由であるとは思わな
 い。

米国にとり重要なことは住民の希望を見出し、その中にお
 いて正しい決定を下すことである。

ホノルルへ転電した。

(3)

ソカ 万博
 大政事外外官
 務次 房
 区官官審審長
 儀審及会管給
 個人電原計
 参議院
 参領旅移
 参北東經
 長 中西三
 参北東經
 参一二
 参西東洋
 西東
 参参近ア
 参次總經國万
 参参質統三
 参政統二
 参一選
 参系協規
 参政経科
 参社専
 参道内外
 一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 20710 主管
 69年5月15日21時30分 米国 発着
 69年5月16日10時42分 本省 米田

外務大臣殿 下田(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

ヒツケル内務長官の記者会見

第1491号 略 至急

往電第1479号に関し

15日国務省キニ日本部長代理は木内に対し本件に関し次の通り述べた

1. 本件インタビューについて日本においてどのような報道がなされたかは承知していないが、ミクロネシア地域をオキナワに代る軍事基地とするとの報道については、既に国防省もこれを否定しており、ヒツケル長官もテキストによつて明らかな通りかかる発言は全然していない
2. オキナワ問題がクローズアップされるに従い、ジャーナリズムはミクロネシア地域がオキナワの代替地となり得るとの可能性に結びつけて報道しているが、このような議論は全く非現実的であり、ヒツケル長官の発言の通り意味のないものである
3. 最近現地においても米国議会においても、同地域に対する米側の配慮が不十分であるとの声が強くなっており、問題化してきたところ、ヒツケル長官はかかるはい景にお

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

いて今回の訪問を行なったものである。要するに住民のふくしが最大の問題である

4. 海兵隊のウォルト中將がヒツケル長官と相前後して同地域を訪れていることが問題とされているが、これはルーティンの視察であり、軍事基地について検討するがごときことから発しているものではない

5. 昨今日本では同地域問題を軍事基地との関連で見る傾向があるのに対し、米議会内には、日本側が同地域に対し触尋(チクソウ)するのではないかと誤った見方があるが、いずれも十分根拠のあるものでないことは説明するまでもない

ホノルルへ転電した

(3)

ソノ 頁

日 付
月 日 時 分

送 信 部 署
送 信 局 名

電 報 掛 金
電 報 掛 金 額

電 報 種 類
電 報 種 類

電 報 通 信 所
電 報 通 信 所

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

電 報 掛 金 領 有 者
電 報 掛 金 領 有 者

注 意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲部と連絡せられたい。

電 報 号 字

送 信 部 署 (A) 207-0 米 国 送 信 部 署
 送 信 局 名 5 月 16 日 10 時 42 分 本 省 送 信 部 署
 送 信 部 署 下 町 大 使 館 臨 時 代 理 大 使 館 代 理 人

ヒツケル内務長官の記者会見

第 149 / 号 略 至 急

往 電 第 1479 号 到 申

5 日 國 務 省 キー - 日 本 部 長 代 理 館 長 内 対 し 本 件 に 関 し 次 の 通 り 述 べ た

1. 本 告 イ ン タ ビ ュー に つ い て 日 本 に お い て ど の よ う な 報 道 が な さ れ た か は 承 知 し て い ない が、ミクロナシア 地 域 を オキナワ に 代 る 軍 事 基 地 と す る と の 報 道 に つ い て は、既 に 國 防 省 も こ れ を 否 定 し て お り、ヒツケル 長 官 も テキスト に よ っ て 明 ら か な 通 り か か る 発 言 は 全 然 し て い ない

2. オキナワ 問 題 が シー・オブ・ソープ さ れ る と 従 い、ジャマナシム は ミクロナシア 地 域 が オキナワ の 代 替 地 と な り 得 る と の 可 能 性 に 粘 着 性 で 報 道 し て い る が、こ の よ う な 論 議 は 全 く 非 現 実 的 で あり、ヒツケル 長 官 の 発 言 の 通 り 意 味 の 本 質 の 上 である

3. 最 近 現 地 に お い て も 米 國 議 会 に お い て も、同 地 域 を 対 す る 米 側 の 態 度 が 不 十 分 である と の 声 が 強 くな っ て じ ゃ、周 圍 化 し て 来 た と ころ、ヒツケル 長 官 は か か る 疑 い 状 態 を

注 意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲部と連絡せられたい。

電 報 号 字

い て 今 回 の 訪 問 を 行 な っ た も の で あり、要 す る に 往 來 の ふ く し が 最 大 の 問 題 で あり

4. 海 兵 隊 の ウォルト 中 将 が ヒツケル 長 官 と 視 察 後 して 同 地 域 を 訪 れ て い る こ と が 問 題 と さ れ て い る が、こ れ は ルー ティン の 視 察 で あり、軍 事 基 地 に つ い て 検 討 す る が と き と ころ か ら 踏 し て い る も の で は ない

5. 昨 日 日 本 で は 同 地 域 問 題 を 軍 事 基 地 と の 關 連 で 見 る 観 向 が あり の と 對 し、米 議 会 内 に は、日 本 側 が 同 地 域 に 對 し 懸 念 を 抱 いて いる の で は ない か と の 誤 った 見 方 が あり、い づ れ も 十 分 誤 差 の 有 る も の で ない こ と を 説 明 す る ま で も ない

ホノルルへ 電 報 した

ソビエト
 大政事外外官
 務務 房
 次次
 臣官官審審長
 傳傳文会管給
 総人冠厚計
 参調析
 参領旅移
 参北東経
 中頭監
 参北北領
 参一三
 参西東洋
 西裏
 参書近ア
 次総経国万
 参資流
 参政技二
 国一理
 参多協規
 参政経科
 軍社専
 参内外
 文長

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号 (TA) 23821
 69年6月3日19時50分 米 国 発 米北
 69年6月4日08時56分 本 省 着 米北

外務大臣殿 下田 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

沖縄問題(国務省報道官コメント)

ナ1704号 平 至急(優先処理)

往電ナ1698号人に関し

3日、国務省マクロスキー報道官は定例記者会見において冒頭往電記事に関する記者の質問に対し次のように答えた。

(以下別紙英文)

外務省

Q BOB, DO YOU HAVE ANY COMMENT ON A STORY CONCERNING OKINAWA AND DISPOSITION OF NUCLEAR WEAPONS?

A NO DECISIONS, EITHER WITH RESPECT TO THE FUTURE STATUS OF OKINAWA NOR ON U.S. MILITARY EQUIPMENT ON THE ISLAND HAS BEEN MADE. THE PRESIDENT HAS ASKED THE SECRETARY TO BEGIN DISCUSSIONS AND EXPLORATORY NEGOTIATIONS WITH THE JAPANESE GOVERNMENT ON THE MATTER OF OKINAWA. UNTIL THOSE ISSUES HAVE BEEN THOROUGHLY EXPLORED AND DISCUSSED WITH THE JAPANESE -- AND THAT WILL TAKE SEVERAL MONTHS, AT LEAST -- NO FIRM U.S. DECISIONS WILL BE TAKEN.

Q YOU SAY SEVERAL MONTHS?

A (NODDING HIS HEAD AFFIRMATIVELY)

Q THEN ARE YOU DENYING, BOB, THAT CONSIDERATION HAS BEEN GIVEN TO SOME SORT OF PACKAGE TYPE DEAL INVOLVING WITHDRAWAL OF ARMS FOR A CERTAIN PEAK TIMEFRAME OF RETURN OF THE RYUKYUS?

A I'M SAYING WHAT I SAID, AND DO NOT INTEND TO GO ANY FURTHER.

(3)



糸

注意

- 1. 本室の取扱いに慎重を期せられたい
- 2. 本室の取扱いに他の場合は検閲に注意せられたい

電信写

大政事外外管
 務務 房
 次次
 直官官警警長
 録文会管給
 個人属原世
 参調折
 参領旅参

参北北極
 中西屋
 参北北極
 参一二
 参西京洋
 西京

参書近ア
 次総経国万
 参官政二
 政二
 参政二
 参政二
 参政二
 参政二
 参政二

総番号(TA) 23821
 69年6月3日19時50分 米 国 発 米地
 69年6月4日08時56分 本 省 着 米地
 外務大臣殿 下田 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理
 沖縄問題(国務省報道官コメント)
 米1704号 平 至急(優先処理)
 往電米1698号人に関し
 3日、国務省マクロスキー報道官は定例
 記者会見において冒頭往電記事に關す
 る記者の質問に対し次のように答えた。
 (以下別紙英文)

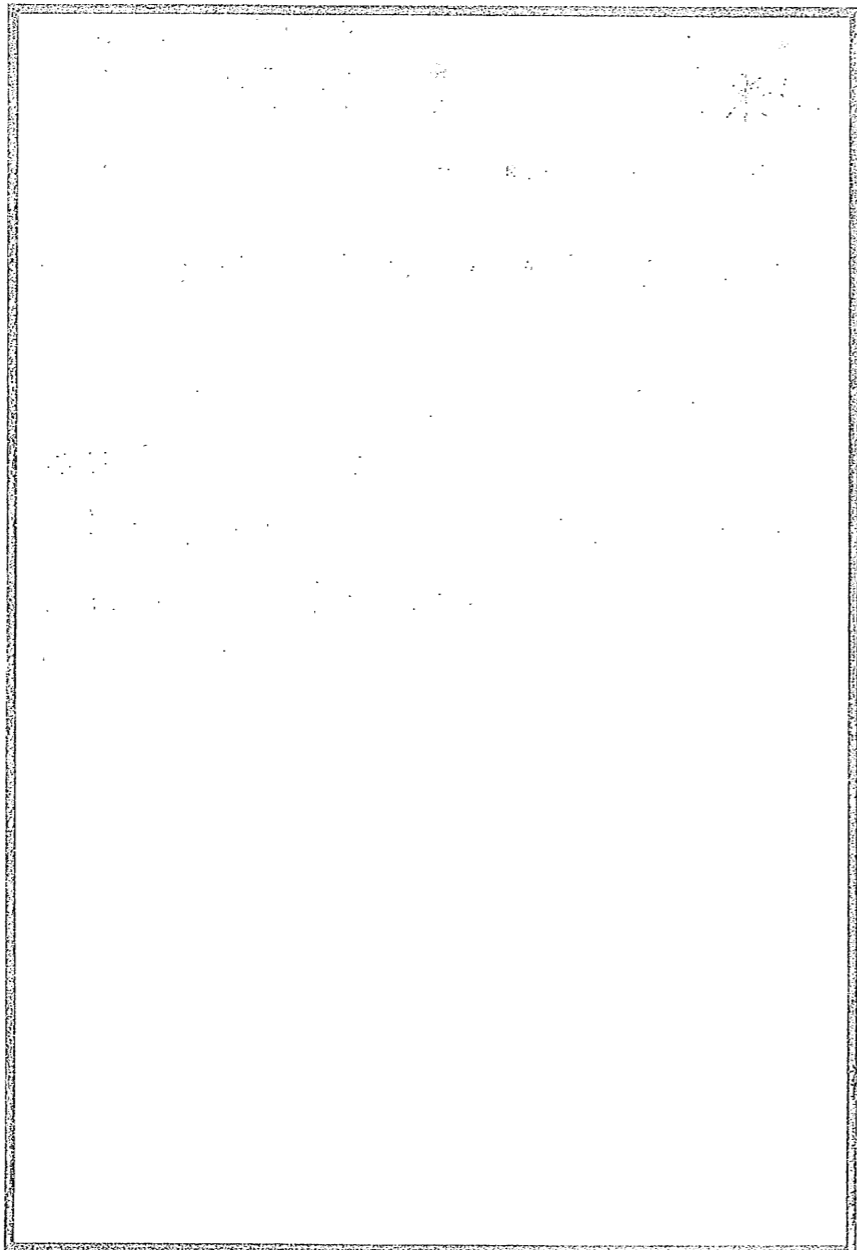
Q BOB, DO YOU HAVE ANY COMMENT ON A STORY CONCERNING OKINAWA AND DISPOSITION OF NUCLEAR WEAPONS?
 A NO DECISIONS, EITHER WITH RESPECT TO THE FUTURE STATUS OF OKINAWA NOR ON U.S. MILITARY EQUIPMENT ON THE ISLAND HAS BEEN MADE. THE PRESIDENT HAS ASKED THE SECRETARY TO BEGIN DISCUSSIONS AND EXPLORATORY NEGOTIATIONS WITH THE JAPANESE GOVERNMENT ON THE MATTER OF OKINAWA, UNTIL THOSE ISSUES HAVE BEEN THOROUGHLY EXPLORED AND DISCUSSED WITH THE JAPANESE -- AND THAT WILL TAKE SEVERAL MONTHS, AT LEAST -- NO FIRM U.S. DECISIONS WILL BE TAKEN.
 Q YOU SAY SEVERAL MONTHS?
 A (NODDING HIS HEAD AFFIRMATIVELY)
 Q THEN ARE YOU DENYING, BOB, THAT CONSIDERATION HAS BEEN GIVEN TO SOME SORT OF PACKAGE TYPE DEAL INVOLVING WITHDRAWAL OF ARMS FOR A CERTAIN PERIOD TIMEFRAME OF RETURN OF THE RYUKYUS?
 A I'M SAYING WHAT I SAID, AND DO NOT INTEND TO GO ANY FURTHER.

(3)

注意

- 1. 本電の取次、仲立を期せぬこと。
- 2. 有線、無線の他については郵便に連絡ありぬ。

電信等



Q. I'D LIKE TO GO TO THE SECRETARY'S TALK WITH
 ME. WOULD I BE ABLE TO FIND OUT HOW THE
 WILL BE THE ONLY ONE TO BE DISCUSSED BY?

A. NO.

Q. WOULD THERE BE OTHER SUBJECTS?

A. I WOULD NOT THINK THAT AS A CONCLUSION AT
 ALL THERE ARE TO BE. THERE WILL BE OTHER SUBJECTS
 AND SUBJECTS IN THESE MEETINGS. THERE IS A MEETING
 WHICH WAS TO BE HELD AT 11:00. IT'S FOLLOWED BY LUNCH.
 THERE IS ANOTHER MEETING SCHEDULED FOR THURSDAY WITH THE
 PRESENCE OF MANY PEOPLE AND TO A MEETING. THE
 POSSIBILITY OF ANOTHER ONE, BUT I WOULD BELIEVE THAT AT
 LEAST A FEW MORE WILL BE HELD THURSDAY AFTERNOON.

Q. WOULD IT BE POSSIBLE THAT WE COULD BE
 FACT ONE OF THEM. I WOULD BE POSSIBLY ONE OF
 TO BEAT IN YOURS. OR BE SOME OTHER ONE OF THE
 GROUP OF THE OTHERS. I WOULD BE ONE OF THE
 OTHERS.

Q. WOULD THERE BE A DISCUSSION OF THE
 POSSIBILITY OF...

A. I WOULD BE ONE OF THE
 OTHERS.

Q. WOULD IT BE POSSIBLE THAT WE COULD BE
 ONE OF THE OTHERS. I WOULD BE ONE OF THE
 OTHERS.

A. I WOULD BE ONE OF THE
 OTHERS.

SOMETHING HERE THAT I THINK IS SAFE. THE FOREIGN MINISTER MIGHT BE INTERESTED IN HEARING FROM THE SECRETARY OF STATE HIS IMPRESSIONS OF HIS TRIP, HIS FIRST TRIP TO VIET-NAM.

Q THERE HAS BEEN REPORTS FROM JAPAN THAT MR. AICHI WOULD PROPOSE A HOT LINE BETWEEN TOKYO AND WASHINGTON TO FACILITATE ANY DISCUSSIONS IF AN EMERGENCY AROSE INVOLVING THE USE OF OKINAWA AFTER IT REVERTS. IS THERE ANY THING YOU CAN SAY ABOUT IT?

A I MUST SAY IT'S NOT ANY THING I HAVE COME ACROSS IN WHAT I HAVE READ.

Q BOB, IS YOUR REFERENCE TO THE SEVERAL MONTHS PERIOD--

A NOW, THAT IS NOT TO -- THAT IS NOT TO DENY THE REPORT YOU REFERRED TO. I HAVEN'T SEEN THAT REPORT, BUT I HAVE SEEN NO INDICATION THAT HE MIGHT RAISE THAT SUBJECT WHEN HE'S HERE.

Q IS YOUR REFERENCE TO THE SEVERAL MONTHS PERIOD BEFORE A DECISION IS REACHED ON MILITARY USE OF OKINAWA MEANT TO CARRY BEYOND THE FORTHCOMING VISIT OF THE PRIME MINISTER OF JAPAN?

A FOR YOUR GUIDANCE, I WOULD NOT EXPECT OR TAKE WHAT I SAID TO CARRY BEYOND THAT VISIT. WHEN I

SAY SEVERAL MONTHS, I HAVE THAT IN MIND.

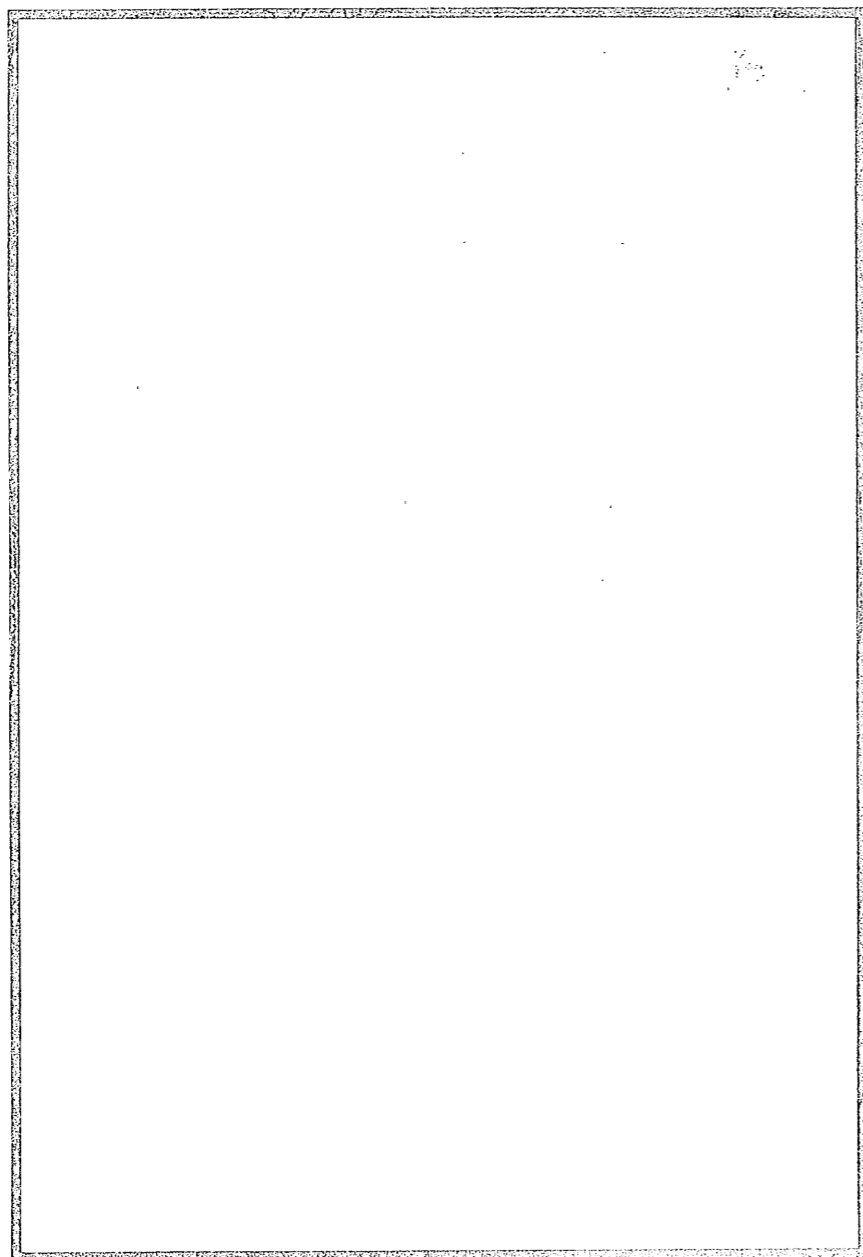
(3)

— 4 —

注意

- 1. 本誌の取扱いに注意
- 2. 本誌の訂正変更その他については、後掲の電話で

電信



IS QUESTIONED MR. SECRETARY, THERE HAS BEEN A SERIES OF TALKS BETWEEN YOURSELF AND THE FOREIGN MINISTER OF JAPAN ON THE FUTURE STATUS OF OKINAWA. COULD YOU GIVE US YOUR ASSESSMENT OF THESE TALKS AND TO WHAT PROGRESS HAS BEEN MADE

AND SAY WHAT IT IS?

SECRETARY ROGERS: I MIGHT SAY IN THAT CONNECTION WE HAVE HAD A VERY PLEASANT SERIES OF TALKS. I HAVE TALKED TO HIS THIRD FLIER NOW AT LENGTH AND HE MADE WHAT I THOUGHT WAS AN INTERESTING OBSERVATION HE SAID HE HAD TALKED TO PRESIDENT NIHO, THE PRESIDENT TOLD HIM THAT JAPANESE NEGOTIATIONS HAD SOON ENDED- AND HE SAID, MR. ROGERS, I THINK YOU AND I ARE GOING TO BECOME VERY GOOD FRIENDS.

WE HAVE HAD, I THINK, USEFUL TALKS. OUR RELATIONSHIP WITH JAPAN IS OF SPECIAL IMPORTANCE TO US FOR THE FUTURE CAROLINE JAPAN IS THE WORLD IS PART OF OURS. WE VALUE THE RELATIONSHIP VERY MUCH. THE FACT IS FOR OUR INTERESTS ARE COVERED THE INTEREST OF JAPAN. IN THE FUTURE IS TO ASSUME A GROWING BURDEN OF ECONOMIC AND TO PROVIDE ADDITIONAL FACILITY FOR THAT REGION. OUR OBJECTIVE IS COMPLETELY THE SAME. WE WANT TO MEET & OUR PRESIDENT IS THAT WE CAN HAVE ENEMY CARRY ON AND CONSIDER THEM ONE & THE SAME BY MEANS OF

UNDER TREATIES.

SO I WOULD NOT THINK THAT WE WOULD -- ALTHOUGH THE NEGOTIATIONS WILL BE LENGTHY. I AM SURE THEY WILL PROCEED FOR SEVERAL MONTHS. I WOULD NOT THINK THAT WE WOULD BE UNABLE TO REACH AN AGREEMENT THAT WOULD BE ACCEPTABLE TO BOTH JAPAN AND THE UNITED STATES, AND I CERTAINLY HOPE SO.

2. O MR. SECRETARY, IN YOUR TALK WITH FOREIGN MINISTER AICHI, YOU CONCLUDED THAT THE TALKS WERE SUCCESSFUL. COULD YOU TELL ME ON WHAT GROUNDS YOU CHARACTERIZED THE TALKS AS SUCCESSFUL?

A YES. WELL, I DON'T WANT TO OBVIOUSLY EXPLAIN THE PROGRESS THAT WE HAVE MADE. BUT WE DID HAVE A VERY GOOD EXCHANGE, PARTICULARLY YESTERDAY, OF IDEAS. AND I WOULD HAVE, AS I SAY, I HAVE EVERY REASON TO THINK THAT A PLAN CAN BE WORKED OUT THAT WILL BE SATISFACTORY TO JAPAN AND HOPEFULLY TO THE UNITED STATES.

-3- (13)

ソカ 万
ヒビ 博

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

402

大政外外務管
務次 典房
臣官情書長長
儀答文会管総
送人儀厚計
国資長 参調折金
長 参領旅移

総番号(TA) 3454/
69年8月8日21時15分 米 周 発 北
69年8月9日10時27分 本 省 着 北

外務大臣殿 下田 大使 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題に関するNBO記者内話

第2475号 極秘

8日NBOゴラルスキー記者(国防省担当)はサトウに対し次のとおり述べた趣。

1. オキナワ問題に関する国防省全体の空気は非常にかたい。ジョンソン政権時代のISA責任者は物わかりが良かったが、現在のISAは軍部の意見に同調するきらいがある。

2. 現政権としてはヴェトナム戦争をとにかく収めようとする方向へ動いているにもかかわらず、国防省軍部筋はこれから数年間にヴェトナムで何が起るか予想がつかないと強く主張するし、ヴェトナムがかた付いたとしてもラオスで何が起るかかわらないではないかとかん張るしまつてあり、ヴェトナム戦争での教訓などは全然感じとっていないようである。

3. 1972年までに返かんのタイミングについては政府全体としてみればその方向へ動いていると見られるが、国防省の軍部筋は、右はホワイト・ハウスと國務省が考え

外務省

極秘

ア 参地中東
長 北 東 西
参 北 北 保
参 一 二
参 西 東 洋
長 西 東
近ア長 参書近ア
長 次総経国万
長 参領統 国
参政技二 国一理
参 協 規
参政経科
長 軍社専
参道内外
長 一 二

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

出したタイミングであり、軍としては72年とコミットすることはできないとうそぶいている位である。日本のジャーナリズムがらつ観ムードを報じていると聞いているが、米国内のかべはそう簡単には切りくずせるものではないことをよく理解しておくべきだと思う。

4. 国府が如何に熱心にオキナワのかた代りをする主張しても米政府としてはこれに絶対のべきでないことは当りまえのことであり、国防省もそこまでは考えていないとの印象をうけている。

5. ※お、ニクソン大統領は近くヴィエトナム撤兵の第2次発表をする予定であるが、今までのところでは在ヴィエトナム米軍の兵力は撤兵も行なわれたがREPLACEMENTもなされているので総体的には減少していない。/ 970年末までにSUBSTANTIALLYに兵力撤兵をするといつてもどの程度可能か疑問がある。もつともこのところニクソン大統領は軍部の意見をそのまま受け入れるというよりはかなり自この考えで動いているのでそのへんに期待をかけるむきがある。パリ会談も相手があるとはいえロジックではどうにもならず、ハリマンでないのが残念である。

— 2 — (3)

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

総番号(TA) 24683 主管
 69年6月9日15時50分 2-37 発着
 69年6月10日06時49分 本省 着 米北1

外務大臣殿 奈報 大使 臨時代理大使 (総領事) 代理

極東問題(その2。オキナワ)

第5/8号 略

往電第5/5号に關し。

オキナワ問題に關する発言の模様次の通り。

1. パッシン教授は3日付ニューヨーク・タイムズSMITHの核ぬき返かん決定記事に關し次のように述べた。自分(パ教授)はニクソンが4月の国家安全保障会議後オキナワの核ぬき返かんを決めたとすれば軍部に対する考慮があつたものと思う。即ち、軍部としては核ぬきは止むを得ないとしてもPRIOR CONSULTATIONなしの自由使用権は保持したいと考えており、オキナワ返かん交渉の最終段階で核ぬきを認める代りに自由使用を確保するとの取引により基地の態様の問題を解決しようと思つている。ニクソンとしては日本側が核ぬき本土なみでなければ国内的に困難な局面を迎えることを承知しており、もし軍部の取引に乘ぜられるようなことになれば日本側との交渉が難行するので、それを切りくずすために予め核ぬきを決定し交渉の中心を自由使用の問題に移すことにより

米北1

ソカヒ 万博

大政事外外官
 務務 房
 次次
 臣官官審審長
 信信文会管給
 人電厚計
 査調研
 債移長
 参領旅移

ア参北東盛
 長中西整
 参北北優
 中東
 参一二
 参西東
 長

近参審近ア
 長
 参総經國万

長参質統
 参政技二
 國一理

長参条協規
 國
 参經科

長軍社專
 参通内外
 一二

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

出したタイミングであり、軍としては72年とコミットすることはできるはずがないとそぶいている位である。日本のジャーナリズムがらつ観ムードを報じていると聞いているが、米国内のかべはそう簡単には切りくずせるものではないことをよく理解しておくべきだと思う。

4. 国府が如何に熱心にオキナワのかた代りをする主張しても米政府としてはこれに絶対のるべきでないことは当りまえのことであり、國務省もそこまでは考えていないとの印象をうけている。

5. なお、ニクソン大統領は近くヴェトナム撤兵の第2次発表をする予定であるが、今までのところでは在ヴェトナム米軍の兵力は撤兵も行なわれたがREPLACEMENTもなされているので總体的には減少していない。1970年末までにSUBSTANTIALLYに兵力撤兵をするといつてもどの程度可能か疑問がある。もつともこのところニクソン大統領は軍部の意見をそのまま受け入れるというよりはかなり自この考えて動いているのでそのへんに期待をかけるむきがある。パリ会談も相手があるとはいえロッキではどうにもならず、ハリマンでないのが残念である。

(3)

万博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大坂事外外信
務務 房
次次
臣官重審審長
信信文会管給
参入電票計
参閣折
参領旅移

参近ア
参総証國
参買証
参政技二
参一理
参条協規
参予協科
参社専
参内外

総番号(TA) 24683
69年6月9日15時50分 二二-37 主管
69年6月10日06時49分 本省 発着 米北1

外務大臣殿 奈殿 大使 臨時代理大使 (総領事) 代理

極東問題(その2。オキナワ)

第5/8号 略

往電第5/5号に關し、

オキナワ問題に關する発言の模様次の通り。

1. パットン教授は3日付ニューヨーク・タイムズSMTIの核ぬき返かん決定記事に關し次のように述べた。自分(パ教授)はニクソンが4月の国家安全保障會議後オキナワの核ぬき返かんを決めたとすれば軍部に対する考慮があつたものと思う。即ち、軍部としては核ぬきは止むを得ないとしてもPRIOR CONSULTATIONなしの自由使用権は保持したいと考えており、オキナワ返かんの交渉の最終段階で核ぬきを認める代りに自由使用を確保するとの取引により基地の態様の問題を解決しようと思つている。ニクソンとしては日本側が核ぬき本土なみでなければ国内的に困難な局面を迎えることを承知しており、もし軍部の取引きに乗せられるようなことになれば日本側との交渉が難行するので、それを切らさずため(に)予め核ぬきを決定し交渉の中心を自由使用の問題に移すことにより

極秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

題につきそういう状況になっていることが期待されている。

問 今まで行なわれた2度の会談の結果から判断して、返かんに関する協定に達する方向へ進展がなされていると思うか。

答 そうだ。

問 その点についてふえん出来ないか。

答 ちよつと出来かねる。

ニューヨークに転電した。

-2- (3)

外務省

万博

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

539

電信写

総番号(TA) 52696 主管
 69年11月20日16時20分 米 国 猪 米化1
 69年11月21日07時57分 本 省 着

外務大臣殿 下田 大(印) 臨時代理大使 総領事 代理

総理訪米(米側報道官の会見)

欠3777号 平至急

19日の総理とニクソン大統領との会談に関するジャーナラー報道官の会見記録次の通り。

(以下別紙英文)

総領事 工長

外務省

大政事外外 儀信
 務務 典房
 次次 長長
 官官 審審
 機書文会 管給

総入電厚計

参調折企

参領旅移

ア 参地中東

長 北 東 西

深 参北北(印)

中 参一 二

南 参西 東 洋

欧 長 西 東

近 参書 近 ア

長 次 参 経 国 万

長 参 質 統 三

参 政 技 二

国 一 理

参 参 協 協 親

参 政 経 科

参 参 社 專

参 参 道 内 外

参 参 文 一 二

MR. ZIEGLER : THE TALKS BETWEEN THE PRESIDENT AND THE PRIME MINISTER LASTED FROM 10:30 UNTIL 12:30 UNTIL 12:20. AS YOU GENTLEMEN KNOW, A JOINT COMMUNIQUE WILL BE ISSUED ON FRIDAY. THIS COMMUNIQUE WILL COVER THE SUBSTANCE OF THE TALKS BETWEEN THE PRESIDENT AND THE PRIME MINISTER. THERE WILL BE NO ANNOUNCEMENTS PRIOR TO THE ISSUANCE OF THIS COMMUNIQUE ON FRIDAY.

IN RELATION TO TODAY'S TALKS, THE PRESIDENT AND THE PRIME MINISTER HAD EXTENDED DISCUSSIONS ON VARIOUS IMPORTANT PROBLEMS, INCLUDING OKINAWA AND ASIAN MATTERS.

THE DISCUSSIONS, AS YOU KNOW, WILL CONTINUE TOMORROW AND THE SECOND DAY DISCUSSIONS WILL DEAL PRIMARILY WITH ECONOMIC MATTERS. THE PRESIDENT TOLD ME THAT THE DISCUSSIONS ARE STILL NOT CONCLUDED, BUT HAVE BEEN VERY CONSTRUCTIVE.

THE DISCUSSIONS, AS I MENTIONED, WERE EXTENDED AND WERE CONDUCTED IN A VERY FRIENDLY AND CORDIAL MANNER.

AS YOU KNOW, THE PRIME MINISTER AND THE PRESIDENT HAVE A LONG ASSOCIATION AND THE TALKS WERE CONDUCTED AS YOU WOULD EXPECT TWO FRIENDS DISCUSSING MATTERS OF UTMOST IMPORTANCE TO BOTH COUNTRIES.

- 2 -

Q WERE THESE PRIVATE, JUST THE TWO OF THEM, RON?

MR. ZIEGLER: YES, THE PRIME MINISTER AND THE PRESIDENT MET ALONE, WITH INTERPRETERS. THERE WERE TWO INTERPRETERS IN THE ROOM, AN INTERPRETER FOR THE PRIME MINISTER AND AN INTERPRETER FOR THE PRESIDENT.

Q SO, ECONOMIC ISSUES HAVE NEVER BEEN DISCUSSED TODAY, RIGHT?

MR. ZIEGLER: WELL, THEY DISCUSSED VARIOUS MATTERS TODAY, AS I SAID, INCLUDING OKINAWA. THE DISCUSSIONS TOMORROW WILL DEAL PRIMARILY WITH ECONOMIC MATTERS.

Q THEY DID NOT JOIN THE DELEGATION IN THE CABINET ROOM AT ALL FOR DISCUSSIONS.

MR. ZIEGLER: NOT, THEY DID NOT SEMICOLON THAT IS CORRECT.

Q DID THE DELEGATION MEET IN THE CABINET ROOM?

MR. ZIEGLER: YES, THEY DID. WE WILL POST FOR YOU, AFTER THIS BRIEFING, THE MAKE-UP OF THE TWO DELEGATIONS WHICH

- 3 -

MET IN THE CABINET ROOM.

Q DID THEY REACH ANY AGREEMENT ON OKINAWA?

MR. ZIEGLER: WELL, THE SUBSTANCE OF THE DISCUSSION WILL BE CONTAINED IN THE COMMUNIQUE WHICH WILL BE ISSUED ON FRIDAY.

Q THERE WAS NO MEETING TOGETHER WITH THE DELEGATIONS SEMICOLON THEY REMAINED IN PRIVATE?

MR. ZIEGLER: THAT IS CORRECT.

Q WHAT WAS PRESENTED TO THE PRIME MINISTER AND THE PRESIDENT IN THE ROOSEVELT ROOM?

MR. ZIEGLER: GOLD MEDALLIONS AND THE FIRST COPIES OF A BOOK ON THE NISEI. THE GOLD MEDALLIONS COMMEMORATED THE 100TH ANNIVERSARY OF THE JAPANESE MIGRATION TO THE UNITED STATES, AS I MENTIONED IN THE EARLIER BRIEFING.

Q WHAT WAS THE NAME OF THE ORGANIZATION?

MR. ZIEGLER: THE JAPANESE-AMERICAN CITIZENS LEAGUE.

Q WHO MADE THE PRESENTATION?

MR. ZIEGLER: JERRY ENOMOTO, WHO IS THE PRESIDENT OF THE JAPANESE-AMERICAN CITIZEN'S LEAGUE, AND MIKE HISAOKA, WHO IS THE REPRESENTATIVE OF THE LEAGUE HERE IN WASHINGTON.

Q DO YOU KNOW THE AUTHOR OF THE BOOK?

MR. ZIEGLER: I AM SORRY, I DO NOT, BUT WE CAN FIND THAT OUT FOR YOU.

Q IT IS WILLIAM HOSOKAWA, THE ASSOCIATE EDITOR OF THE DENVER POST.

Q WILL THEY HAVE A DISCUSSION ON FRIDAY, ALSO?

MR. ZIEGLER: THEY WILL MEET ON FRIDAY PRIOR TO THE FAREWELL REMARKS.

Q COULD YOU BE MORE SPECIFIC ON THE TOPICS DISCUSSED TODAY?

MR. ZIEGLER: NO, THIS IS ALL THE INFORMATION I HAVE FOR

YOU TODAY. THE DETAILS ON THE SUBSTANCE OF THE DISCUSSIONS WILL BE GIVEN TO YOU IN THE COMMUNIQUE ON FRIDAY.

Q WILL YOU BRIEF ON FRIDAY, TOO?

MR. ZIEGLER: YES.

Q RIGHT AFTER THE COMMUNIQUE IS ISSUED?

MR. ZIEGLER: WELL, WE WILL ISSUE THE COMMUNIQUE HERE ON FRIDAY, YES.

Q BOTH THE PRESIDENT AND THE PRIME MINISTER WERE PREDICTING A SUCCESSFUL OUTCOME TO THEIR TALKS IN THE ARRIVAL REMARKS. DO WE DRAW FROM THIS THAT THEY ARE PRETTY CLOSE TO AN AGREEMENT?

MR. ZIEGLER: WELL, ALL OF THOSE DETAILS WILL BE CONTAINED IN THE COMMUNIQUE ON FRIDAY. IN THE INFORMATION I GAVE YOU, THE PRESIDENT STATED THAT THE TALKS TODAY WERE CONSTRUCTIVE.

Q I THINK YOU SAID THAT THE PRESIDENT HAS TOLD YOU

THAT THE DISCUSSIONS WERE NOT CONCLUDED.

MR. ZIEGLER: THE PRESIDENT SAID THE DISCUSSIONS ARE NOT CONCLUDED. THEY MEET TOMORROW AND THEY MEET AGAIN ON FRIDAY.

Q ARE THEY GOING TO TALK ABOUT OKINAWA, TOO, OR JUST ECONOMIC PROBLEMS? SPECIFICALLY, WHAT DOES THAT PHRASE PERTAIN TO?

MR. ZIEGLER: THE TALKS IN GENERAL.

Q THE OKINAWA PROBLEM WILL BE DISCUSSED TOMORROW, TOO?

MR. ZIEGLER: THEY WILL CONTINUE THEIR DISCUSSIONS ON THESE MATTERS TOMORROW.

Q CAN YOU INDICATE WHAT TIME ON FRIDAY THE COMMUNIQUE WILL BE AVAILABLE?

MR. ZIEGLER: AFTER THE MEETING.

Q LIKELY IN THE MORNING?

MR. ZIEGLER: WELL, WE WILL SEE, BUT IT WILL BE RELEASED
SHORTLY AFTER THE MEETING AND FAREWELL REMARKS.

Q WHAT ABOUT A LID?

MR. ZIEGLER: THERE IS A LID. I WOULD SUGGEST THAT
YOU BE BACK HERE BY 2:15 OR 2:20.

Q DO YOU KNOW WHETHER WE ARE GETTING HIM YET?

MR. ZIEGLER: NO.

Q NO AFTERNOON BRIEFING?

MR. ZIEGLER: NO.

THE PRESS: THANK YOU.

ソカヒ 万大 博阪

大政事外外務官
 事務次官 典房
 官官官審審長長
 備備備人電厚計
 備備備文会當給
 国参副折企
 資長領移長
 参領旅移
 参地中東
 長北東西
 参北北保
 参一二
 参西京洋
 長西東
 参普近ア
 総次總経國万
 長統統三
 参政政二
 国一強
 参参協協
 長国参政経科
 参道内外
 参一二

注意 持込局 5
 学ゆる者 2
 404

電信写
 総番号 (TA) 3750
 70年 2月 5日 20時50分 本 省 着 米北/
 70年 2月 5日 23時01分 本 省 着
 外務大臣殿 岸沖繩事務所長

ランパート高等弁務官の記者会見(連)
 沖63号 平 至急
 (総務長官へ沖63号)

5日午後5時ランパート高等弁務官は東急ホテルにおいて1時間に亘りテレビ記者会見を行ない、米国防費削減と全軍労問題に関するステートメントを発表した後、記者団の質疑に回答したところ右ステートメント及び会見要旨次の通りなる趣。

人ステートメント(テキスト空送)

(1)米国内には政府、国民ともインフレ抑制のため国防費を削減すべしとの強い信念をもって、この様な基本的な経済的理由から本国及び世界各地において大規模な人

注意
 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

員整理が行なわれており、沖縄においてもその影響を受けている。

(2)しかし沖縄の場合は解雇対象者が従業員の5%以下で他の主要海外基地と比較したとき小規模にとどまっているにも拘らず当地における反対抗議は他の地域に見られない程激しいものであった。

(3)ストライキ行為は決して建設的でなく関係当局者の努力を阻害遅延させるに過ぎない。弁務官として解雇者を最少限にとどめるためその権限内で最大限の努力を続けている。オ三派ストが計画されているようだが今はストについて語るべき時ではなく解雇者の救済策を想談すべき時であり、スト行為は本人はもとより住民に多くの困難をもたらす建設的な解決策を遅延させる以外のなにものでもない。全軍労の指導者や地元企業関係者が困就取のため積極的に協力

— 2 —

ソタ
大臣官舎
初次
大臣官舎長
初次
大臣官舎長
初次
大臣官舎長
初次
大臣官舎長

ア 参地中車
北 参北四
参北四
参北四
参北四
参北四

北 参北四
参北四
参北四
参北四
参北四
参北四

特選 5
留約 2
秘選 1

1204

機密 (T.A) 5/50
70年 5月 5日 20時 50分 十 八 番 北 /
70年 5月 5日 23時 01分 本 番
外務大臣 岸 沖 總 務 所 長

ランバート高等弁務官の記者会見(速)
沖63号 平 急急
(統務長官へ沖63号)

5日午後5時ランバート高等弁務官は東京ホテルにて、1時前よりテレビ記者会見を行う。米国防費削減と全軍労問題に関するステートメントを発表した後、記者団の質疑に回答したところもステートメント及び会見要旨次の通りなる趣。

ステートメント(テキストを送)

(1)米国内には政府、国民ともにインフレ抑制のため国防費削減やべとの強い信念がある。この様な基本的経済目標から本國及び世界各地におおく大規模な人

員整理が行なわれており、沖縄においてもその影響を受けている。

(2)しかし沖縄の場合は解雇対象者が従業員の5%以下で他の主要海外基地と比較したとき小規模にとどまっているにも拘らず当地における反動抗議は他の地域に見られない程激しいのであった。

(3)ストライキ行為は決して建設的ではなく関係当局者の努力を阻害遅延させるに過ぎない。弁務官として解雇者を最少限にとどめるためその権限内で最大限の努力を続けている。米三派ストが計画されているようだが今はストについて語るべき時ではなく解雇者の救済策を懇談すべき時であり、スト行為は本人はもとより住民に多くの困難をもたらす建設的な解決策を遅延させる以外のなにものでもない。全軍労指導者や地元企業関係者が困窮のため積極的に協力

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

することが最も重要である。

(4) 基地勤務者は一般民間企業の従業員に比して高い所得を賃けており、米軍当局としても地元経済に資するため解雇実施をできるだけ延ばしたり米軍家族の雇用を制限してそれを沖縄住民に当ててきた。しかしバーク調整官の円就取斡旋の努力にも拘らず解雇者の中には質問書の提出を行なったり面接に応じない等協力しない者が多い。この様な原因の一つには解雇者に対する退職金、ボーナス、年次休暇等財政的な恩恵が大きいことに起因するものと思われる。報酬の上で本土に比し割安であることを見逃がしてはならない。

(5) 復帰実現まで沖縄のため弁務官としての責任を果たして行くものであるが、しかしまた沖縄の政治経済社会の分野における指導者の協力も必要であり、沖縄における諸向

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

題を解決し発展させていくためこれらの指導者の長期展望に立った決断力が必要である。

ふ 質疑応答 (質問に対し)

(1) 現年度予算では退職手当増額のためにアベイラブルな資金はない実状だ(日本政府より手当増額の補填につき申入れがある場合これを受入れるかとの質問に対し)。かかる申入れは今のところないが、あればその具体的事項につき話合をしてみる用意はあり、これを慎重に検討することとしたい。

(2) 処分問題については帰任したばかりで各軍司令官と話合うに至っていない。

(3) 次年度の解雇計画については予算項目中の人件費がはっきりしていないので、その人数及び時期は不明だ。自分としては大量解雇がないことを希望する(「希望する」という言葉を再度念を押した)

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(二) (基地縮小と人員整理は連関性があるやとの負面に対し)、整理は予算状況に起因する。もっともある種の機能削減されそのため整理が生じたという面もある。

(ホ) 米政援助は大幅に減ったが日政援助の増大に注目する必要がある。日本政府に謝意を表したい。

(ハ) 毒ガス兵器はいづれ撤去される方針に変わりはない。日付は確定するに至っていない。

(ト) メース B 撤去後新しい兵器が導入されたことはない。

(チ) B-52 は客観条件が変り必要がなくなれば撤去される性質のもので云之よう。弁務官は日本語で「皆さん忙がしいところ御苦勞さま、いとお正月をお迎之ください」と述べ会見を終えた。

(3)

5心下野 8 (大蔵、通電)

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

202

電信写

総番号 (T.A) 8626 主管
 70年 2月 26日 17時50分 ナハ 発着
 70年 2月 26日 18時54分 本省 米北

外務大臣殿

岸沖繩事務所長

マイヤー大使の記者会見 (連)

オ82号 平 至急

(総務長官へ オ82号)

1. 沖繩訪問中のマイヤー大使は26日正午より約30分に亘り記者会見を行ない、冒頭ステートメントを読み上げ、その中で返還取極めの円滑且つ効果的な実施のため米琉関係者との協議をするため訪沖した旨を述べた後要旨次の通り記者団の質問に対して応答した趣。(ステートメントテキスト 空送)

(1) 関係雇傭については当方としても移

- ワカヒ
- 万大 海軍
- 大蔵省 外務省
- 事務 典務
- 次長
- 臣官官能審長長
- 備録人電厚計
- 議文会常務
- 閣議長 領務長
- 参領旅移
- 中東
- 北西
- 北北
- 参一三
- 参西東洋
- 西東
- 参書近ア
- 次総経國万
- 参實統國
- 参政技二
- 國一理
- 参参協
- 参政経科
- 軍社専
- 参参内外
- 一三

大蔵、通商 (大蔵、通商)

- 注意
1. 本電の取扱いは慎重を期せられない。
 2. 本電の主管委員その他については極関境に連絡ありたい。

電文写

（以下に略）

中 沖繩事務局長

（以下に略）

（以下に略）

（以下に略）

(三) (基地縮小と人員整理は連関性があるやとの質問に対し)、整理は予算状況に起因する。もつともある種の機能削減されるため整理が生じたという面もある。

(四) 米政援助は大幅に減ったが日政援助の増大に注目する必要がある。日本政府に謝意を表明したい。

(五) 毒ガス兵器はいつか撤去される方針に変わりはない。日米両国で確認するに至っていない。

(六) メースも撤去後新しい兵器が導入されたことはない。

(七) B-52は若観条件が変り必要がなくなれば撤去される性質のものである。

事務官は日本語で「皆さんは忙しいところ御苦労さま、いいお正月をお迎えください」と述べ会費を終えた。

(三)

...

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

討しているが、それがどのような形で何時出来るかについては予測出来ない(米側が間接雇傭につき譲歩すれば日本政府が退取金の増額分を負担してもよいとの意見があるが、これについてどう思うかとの質問に対し、われわれにとつて有益な日本政府の如何なる提案に対しても真剣に検討する、また予算の枠内で退取金の増額を考えているかどうかについては、これは高等弁務官の方で決めることであり右については言及を避けたい。

(2) 準備委員会の設置が何時になるかは間もなくはつきりとするであろうが、そこで取扱う問題は関係のある問題全般で、間接雇傭の問題を特に名指して検討すると云うことではないと思う。

(3) (愛知外相は72年早々に復帰を実
— 2 —

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

現したいと語っているがどの質問に対し) 復帰の実現は返還協定作制作業の如何にかかつており、今から予測出来ない。

(4) 通貨の切替えについては何れ実施されることは明白だが、どういう形で実施されるかについては今のところ言及する立場にない。

(5) 復帰後の外資系企業に対しては、日本政府として、個々の企業に応じた施策を講じなくてはならないと思う。

2. マ大使は26日主席を往訪したところ主席秘書が各方に述べたところによれば、主席は間接雇傭の移行実施、退取金の増額、予告期間の3ヵ月への延長の3点につき要請すると共に、軍離取者問題についての立法院決議のコピーを手交した由。

ソカ
ビト

方六
機

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

大政事外外儀官
務務 典房
次次
臣官官密審長長
儀総人電厚計
儀書文会管給

電信写

主管
米北 /

国
長 参 研 企
長 参 領 旅 移

訂正報

(平)

電信課

45. 4. 27

ア 参 地 中 東
長 北 東 西
参 北 北 保

中 南 露 欧
参 一 二
参 西 東 洋
長 西 東

26日付沖總事務所来電オ82号(TA
8626、件名:マイヤー大使の記者
会見) / (3) 冒頭を次の通り訂正願
いたい。

近ア
長 参 書 遊 ア
参 次 総 經 國 万

長 参 質 納 國
長 参 政 技 二
長 参 協 長 一 理

参 参 榮 協 總

長 参 政 經 科
長 参 軍 社 專

前 参 道 内 外
長 文 長 一 二

(3) (愛知外相は72年早々に

(3)